

高校2年生

現代社会課題

今世の中で何が起きているか？これから公民権を得ていくみなさんに、とにかくニュースを観てほしいと思います。ニュースを観て関心を持った記事を挙げて、それについての意見をA4サイズのレポートに400字程度でまとめてください。

(記事の数や、レポートの枚数は特に問いません。)

※ 1回目と同じ課題です。2本目のレポートをまとめてください。

高校2年3組 日本史B選択宿題【4月23日】

教科書の386ページの冷戦構造の世界～389ページの55年体制の成立までの範囲を読んで、わからない用語を日本史用語集で調べ、ノートに書きだしてください。

こんにちは。元気にすごしていますか？先週の範囲の内容は理解してくれたでしょうか。特に、日本が国際社会に復帰するまでと、日米安全保障条約は重要です。今週の範囲は、日本の占領政策の転換期です。教科書の内容をしっかりと押さえて下さい。勉強も頑張ってくださいですが、たまには気分転換をかねて運動をして下さい。

高2 世界史課題

先週の宿題はおわかりましたか？教科書の文章はもしかしたら難しく感じるかもしれませんが、大学入試でもよく出てくる語彙が多いので、慣れていきましょう。知らない言葉がでてきたら、ネットでもいいので意味を調べましょう。地名や人名は、それが地名なのか人名なのか意識すると、読みやすくなります。また、時間があつたら、人名や建造物名で画像検索をしてみてください。文字だけで知るより、画像を見た方が、理解しやすい気がします。

※休校明けのテストのお知らせ（再掲）

休校期間中に学習する内容については、休校明けに試験をする予定です。試験といっても、テキストやノートを見ながらするテストです。ですから、細かな言葉のひとつひとつを暗記する必要はありません。私にとっては、みなさんが学習内容をどのくらい理解しているか知るための試験、みなさんにとっては、学習内容をもう一度整理するための試験にしたいと思っています。

さて、今週の宿題です。

- ① 教科書 p.25～p.29 を読んで、「各国別世界史ノート」の p.7～p.9 の内容を学習してください。その際には、このあとに続く「世界史Bお助けプリント」も参考にしてください。また、一般公開されている講義動画も活用してください。

【講義動画の紹介】

- ・「Historia Mundi」という先生の Youtube。（「youtube ムンディー」で検索すると出てきます）再生リスト「【大学入試完全網羅】高校世界史世界史 20 話プロジェクト」の、005、008、009 が今週の内容です。
- ・栄光ゼミナールの講義動画（「栄光ゼミナール 講義動画」で検索）高校生用ページの一番下に世界史があります。

第1講 2 古代オリエント(3)・(6)

第2講 2 エーゲ文明(1)～(3) が今週の内容です。

（先週案内した動画に、今週の範囲も含まれていました、すみません。）

- ② 次の問題の答えを、ルーズリーフ等（レポート用紙、コピー用紙なども可。ノートなど冊子状のものは不可）に記入して、休校明け最初の授業で提出してください。毎週一問ずつ、文章で答える問題を出します

問題「エジプト新王国アメンホテプ4世が行った宗教改革について説明し、あなた自身がこの政策についてどう考えるか述べよ。」（字数の指定・制限は特にありません）

質問は、杉田まで！電話でお問い合わせください。

世界史B お目かけプリント②

check の答え

- ① バクトリア ② クテシフォン ③ シェパーレル世 ④ エフタル ⑤ パルティア

古代オリエント史 7

4 パルティアとササン朝の興亡 教科書 p25-27

① アケメネス朝の滅亡とセレウコス朝シリア(前312~前64)の支配

- ① 前4世紀後半、マケドニアの(1)アレクサンドロス大王が東方遠征をおこない、エジプトを征服したのち、前330年にアケメネス朝を滅ぼし、さらにインド西北部まで進出
- ② アレクサンドロスは東西にまたがる大帝國を築くが急死し、後継者による政權が各地に成立→オリエント(西アジア)地域は、(2)セレウコス朝シリアに受け継がれる

② バクトリア(前255頃~前145頃)とパルティア(前248頃~後224)の独立

- ① 前3世紀半ば、アム川上流のギリシア人がセレウコス朝から独立し、(3)バクトリアを建国
- ② バクトリアが独立してまもなく、遊牧イラン人の族長(4)アルサハス(中国表記で安息)もカスピ海東南部に(5)パルティアを建国して、セレウコス朝から独立
- ③ バクトリアは、一時インド西北部まで進出したが、前2世紀半ばに大月氏の攻撃を受けて滅亡

③ パルティアの繁栄と衰退

- ① パルティアは前2世紀半ばにメソポタミアを併合し、首都(6)クテシフォンを建設
- ② 東西交易路(絹の道(シルク=ロード))をおさえ、その利益を独占して繁栄
- ③ セレウコス朝が前64年に(7)ローマ帝国に征服されると、つづいて(7)帝国とパルティアが抗争し、その影響でパルティアは衰退

④ ササン朝(224~651)の興亡

- ① 224年、農耕イラン人のアルダシール1世が、パルティアを滅ぼしてササン朝を建国→パルティアと同じく首都をクテシフォンにおき、(8)ゾロアスター教を国教とする
- ② 3世紀、第2代(9)シェパーレル世が中央集権体制を確立し、東西へ進出
 - i) 西方では、シリアに侵入してローマ軍を破り、皇帝(10)ウァレリアヌスを捕虜とする
 - ii) 東方では、インドに進出してクシャナ朝を滅ぼす
- ③ 5世紀後半、ササン朝は中央アジアの遊牧民(11)エフタルの侵入を受ける
- ④ 6世紀、(12)ホスロー1世がササン朝の最盛期を現出
 - i) トルコ系遊牧民の(13)突厥と同盟し、エフタルを挟撃してこれを滅ぼす
 - ii) 西方では、(14)ユスティニアヌス帝時代のビザンツ帝国との抗争を優位にすすめる
- ⑤ ホスロー1世死後に王朝は衰退し、642年の(15)ムハンマドの戦いで新興のイスラーム勢力に敗れ、まもなく651年に滅亡

⑤ ササン朝時代の文化…イランの伝統文化の復活

- ① ササン朝時代にはゾロアスター教が国教とされ、ホスロー1世の時代にその聖典(16)パーヴェスターが編集される
- ② 3世紀、宗教家(17)マニがゾロアスター教やキリスト教を融合して(17)マニ教を創始→(17)マニ教はササン朝では異端とされるが、北アフリカ・中央アジア・中国などに伝播
- ③ ササン朝時代にはイランの伝統文化が完成され、銀器・ガラス器・毛織物などの美術・工芸の技術や様式が、日本を含む東西世界に伝播

アレクサンドロス大王の死後、来週くわしくやりまわす！
大王は、このくらい広い領土を手に入れた人である。
でも、その領土が広いので、早くに分割されて、国はすぐに分裂し、このころ(今のイランあたり)にセレウコス朝シリアという国ができて、シリアとされた。

セレウコス朝の東の方でギリシア系のバクトリアが、西の方でイラン系のパルティアが独立しました。
パルティアは、ローマと中国(中国)という位置関係だったので、ローマと中国の間の東西交易が栄えました。

パルティアのあとにこの地域を支配したのはササン朝！
建国者のアルダシール1世は、アケメネス朝のやりかた、中央集権(ばらばら)の、異民族の文化に寛容(広くとり)て目指しました。

最盛のホスロー1世はすばらしい君主だったと
言われています。6世紀のころ、5世紀から、エフタルという強敵の民族の脅威に悩まされていたのが、ホスロー1世は、ササンとエフタルがココに同盟をもちて、エフタルをばらばらに倒しました。さらに、

この頃には、ビザンツ帝国という大国があり、ユスティニアヌス帝という優れた皇帝がおきていました。それにも負けません!!
むしろ、ビザンツ帝国から、思想、宗教などは受け取って(アケメネス朝ゆずりの寛容さですね!!)文化(技術)が進歩しました。すごい!!

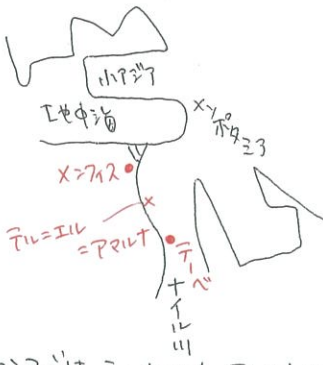
地方分権
↑
逆
王や政府の権限が強いこと。国のすみずみまで
王の命令が行きわたる。

7世紀前半に生じた。あつたという間に勢力が大きくなった。

- ① 異文化に優しいササン朝も、ゾロアスター教の文化の多岐多岐のせいで、マニ教は奇矯なところがある。
- ② 模様(糸織物)が、そのころの東西がイランと、日本に渡って来ていたのと同じです。おどろきですね!!

check 答えはページの右上です!

- ① セレウコス朝シリアから独立して、ギリシア系の国を何というか。
- ② パルティアが首都にしていたのはどこか。
- ③ 3世紀、ローマ皇帝ウァレリアヌスを捕虜にしたときのササン朝君主は誰か。
- ④ 6世紀、ササン朝君主ホスロー1世が、突厥と手を組んで倒した遊牧民族を何というか。
- ⑤ ホスロー1世の時代に編集された、ゾロアスター教の聖典を何というか。



check の答え ① ファラオ ② クシ人 ③ アメンホテプ4世 ④ ヒッタイト ⑤ シャンポリオン (イクナートン)

2 古代エジプト史

1 エジプトの統一国家

教科書 p.20

① 統一王朝の成立

- ① エジプトはナイルのたまもの...ギリシアの歴史家(1)ヘロドトス(前5世紀)のことは定期的によりかみかみ(3)すると共に、山から採集する土が運ばれてくる
- エジプトでは、古代よりナイル川の増減水を利用した豊かな農業がおこなわれる
- ② はやくから多くの小規模国家(ノモス)がつくられ、前3000年頃にメネス王が上・下エジプトのこれらの小国家を統一して、統一国家を形成
 - i) 王は(2)ファラオ(大抵は、いづれかのノモス)と呼ばれ、太陽神(3)ラーの子として、神権政治をおこなう
 - ii) 古代エジプトは、王、神官・貴族、農民にわかれる身分制社会
- ③ エジプトの王朝は、とくに繁栄した時代により古王国・中王国・新王国の3期に区分

② 古王国時代(前27～前22世紀, 第3～第6王朝)…都: (4) メンフィス

- ① 王権の強大化にともなって(5)ピラミッドをさかんに建造し、「(5)時代」とも呼ばれる
- ② ギザにある(6)フツ王(前26世紀頃)・カフラー王・メンカウラー王のピラミッドが有名

③ 中王国時代(前21～前18世紀, 第11～第12王朝)…都: (7) テーベ

- ① 古王国滅亡後の混乱を取捨して成立。この時代はテーベの守護神(8)アモンが主神となる
- ② 末期にはシリア方面から民族系統不明の(9)ヒクソスが入りこみ、国内が混乱

④ 新王国時代(前16～前11世紀, 第18～第20王朝)…都: テーベ

- ① ヒクソスを追放して成立。トトメス3世の時代(前15世紀)にシリアやヌビアまで支配を拡大
- ② この時代には、太陽神とアモンが結びついた(10)アモンラー信仰がさかになる
- ③ 前14世紀、アモン神官団の勢力拡大を背景に(11)アメンホテプ4世が宗教改革をおこない、従来の神々の崇拝を禁じて唯一神(12)アトンの信仰を強制
 - (11)はみずから(13)イクナートンと改名して(14)アムンマアトに遷都し、改革の影響で(15)アムン美術も誕生するが、(11)の死後にアモン信仰が復活
- ④ 前13世紀、ラメス(ラメセス)2世が小アジアの(16)ヒッタイトとカデシュでたたかい、歴史上初の国際条約を結ぶ。また、彼はアブ=シンベル神殿など多数の神殿を建設

⑤ その後のエジプトの展開

- ① 前8世紀、ナイル川上流の(17)クシュ王国がエジプトへ進出し、テーベを都に同地を支配
- ② 前7世紀、(18)アッシリアがエジプトに侵入し、クシュ王国はナイル上流域に後退
- ③ 前7世紀末のアッシリア滅亡後、エジプトは4王国の一つとして分立
 - 前525年、アケメネス朝のカンビュセス2世によって征服され、その支配下におかれる

2 古代エジプトの文化

教科書 p.21

- ① 宗教…太陽神ラーを主神とする多神教で、新王国時代にはアモンラー信仰がさかになる
 - エジプト人は靈魂の不滅を信じてミイラをつくり、「(1)死者の書」を残す(ペリウスという紙に巻いたものに書かれた)。
- ② 学術…天文学や測地術が発達し、太陽暦(2)太陽暦、十進法がもちいられる
- ③ 文字…神聖文字(3)ヒエログリフ・神官文字(ヒエラティック)・民用文字(デモティック)
 - 民用文字は(4)ピピウスに記録される(お茶とかどろみね)
 - ※ 19世紀、フランスの(5)シャンポリオンがロゼッタ=ストーンをもとに(3)を解説

① ミイラは、作り手が色々あって、安いもの、高いものがあったりします。魂が帰って来ると信じて、雑に下ろすと手行レベル、(臓器も)しかりとりのどど、ために日本でもおおくくらとしましよ... (おちり保存されてます)。

③ ロゼッタ=ストーンには、同じ文章が、ギリシア語、神聖文字、民用文字で書かれています。解説者がぐどらと進ませた。ロゼッタ=ストーンはフランスのナポレオンがエジプトでイギリスと争ったときに発見されたこと、この争いはイギリスの月参利におおったこと、ロゼッタ=ストーンは今も大英博物館にありま。

check

- ① 古代エジプトの王のことをファラオと呼ぶ。
- ② 古王国時代の首都はメンフィス。
- ③ 新王国時代、アモン信仰の宗教改革を行った王はアメンホテプ4世。
- ④ " ラムセス2世がカデシュで争った民族を何というか。(前回出てきた、鉄製の武器がめっちゃあつたから人たつた!!)
- ⑤ 神聖文字を解読したフランス人は誰か。

クシ人は、メソポタミア人、アムール人、複雑な民族が混ざりあがり、エジプト文明は、クシ人のエジプト人が、おもしろい文化を築いていきました。

クシ人のエジプト文明のイデオロギイは、古王国のことか、ピラミッドとメンフィス!! 最大のピラミッドはクフ王のもので、高さ233m、重さ230万トン、平均2.5mで、カベ-1000の重さで、100人で、20年かけてつくられたといわれています。

中王国時代は、ピラミッドはつくられなくなり、ピラミッドを壊すと、王家の財宝を盗む人々に盗みに入られ、荒らされたりからず...。クシ人の文化が、というわけで、墓は目立たないことになり、つくられなくなりました。

④ アメンホテプ4世は、テーベでアモン神官の力が強くなり政治的に不利で、首都移転とアモン信仰廃止を決定。アモン神の御代をアムンマアトに決め、アムンマアトの名前。アメンホテプのメンフィス、アメンのこと。アメンが入った名前(クシ人の説得力が強い)といわれて、イクナートンに改名しました。でも、人々の心はアモンに変わりません、イクナートンがセクネと、アモン信仰に戻ります。

前回登場!! ハッパインがエジプトに多量住しはして。

ラムセス2世の像が、2000年、自分好みに作られた?

ここから先は、ギリシア文明です!!

ギリシアに最初に成立したのが、エーゲ文明。
前半がクレタ文明。後半がミケーネ文明。

クレタ文明は、島だから海がのんびり感じます。
宮殿はあっても城壁はありません!! 攻め込まれるという
危機感がなかったのかな。あと、海の生物が
好きです。

こうゆうイルカが干番かいた壁かのこ
います。イルカは好きらしいですね。

そのクレタ文明を滅ぼした人々、アカイアスの文明です。
ミケーネ文明は、守りもよかったです!!

ミケーネ文明を発展させたミノア文明は、小文字で書かれた
トロイア戦争の語から、トロイアの遺跡を根拠とされています。

ミノア文明が鬼ヶ島とか竜宮城とさかすかみじですかね。
あと、独学で10カ国語を覚えたり、貿易商として
大金持ちになっていきます。そのお金で発展をおこしてい

ミケーネ文明とトロイアもみつけました。

ギリシアのこは前12世紀～前8世紀くらいまで、
よくわかっていません。記録がないからです。

よくわからないので、暗黒時代といわれます。

ミノア文明がつかう、「黒歴史」のほうの意味はありません。

前8世紀以降のギリシアについては、
次回!!!

checkの答え ① クレタ宮殿 ② エーゲ文明 ③ テイリス ビュロス ④ ウェントリス ⑤ ホリス

3 古代ギリシア・ヘレニズム史

教科書 p28~29

① エーゲ文明... オリエント文明の影響のもとに、エーゲ海周辺で前3000年頃～前1200年頃に栄えた(青銅期)文明の総称。クレタ文明・ミケーネ文明などがその代表例

② クレタ文明・ミケーネ文明

	クレタ(ミノア)文明	ミケーネ文明
時期	前2000年頃～前1400年頃	前1600年頃～前1200年頃
民族	クレタ人(民族系統不明)	(アカイア)人(インド=ヨーロッパ語系)
中心地	クレタ島の(クノッス)	(ペロポネソス)半島のミケーネ・(テイリス)・ビュロス →小アジアの(トロイア)まで拡大
遺跡	(3)宮殿	ミケーネ城塞の獅子門 (6)の城壁
特徴	海上貿易で栄え、明るく開放的で平和な海洋文明	巨石でできた城塞王宮をもち、戦闘的・専制的な(専制王政)による支配
文字	線文字A(未解読)	線文字B(イギリス人の(ウェントリス)が解読)
滅亡	天災や(2)人の侵入	(ダダ)の侵入や支配体制のいきづまり、気候変動の影響など諸説あり
発掘者	イギリス人の(エヴァンズ)	ドイツ人の(シュレーマン)

2 ポリスの形成 教科書 p29~30

① ギリシア人の南下とポリスの形成

① 第1次南下... 前2000年頃にギリシア人の一派の(アカイア)人が南下し、ミケーネ文明を形成

② 第2次南下... 前12世紀頃に(ドーリア)人がヒッタイト人などから伝わった鉄器をもって南下

→その後、ギリシアは(暗黒)時代(初期鉄器時代)と呼ばれる混乱した時代にはいり、鉄器時代へ移行

③ 暗黒時代の混乱のなか、人々は定住地を求めて移動
→ギリシア人は方言の違いから、イオニア人・アイオリス人・ドーリア人に分化

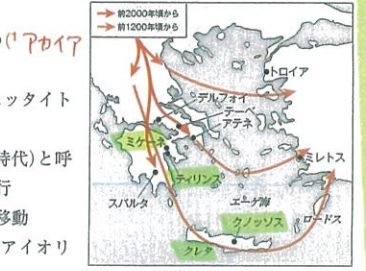
④ 前8世紀、各地で有力貴族の指導のもと、(シノイクスモス)(集住)によって(ホリス)と呼ばれる都市国家が成立

② おもなポリス

① スパルタ... ドーリア人が先住民を征服してペロポネソス半島のラコニア地方に建設

② アテネ... (イオニア)人がアッティカ地方に建設

③ テーベ(テーバイ)... (アイオリス)人がギリシア中部のボイオティア地方に建設



ギリシア人の南下

集住して、2つに分かれます。D&Aが2つです。

check

- ① クレタ文明の中心に建設された宮殿を何とよぶか。
- ② クレタ文明の発展者は誰か。
- ③ ミケーネ文明の中心地はどこか。
- ④ 線文字Bを解読したのは誰か。
- ⑤ 前8世紀頃、ギリシア各地に成立した都市国家を何とよぶか。

ちんちん(国)だと覚えて下さい。
日本の都道府県がそれぞれを根拠とした国になっているらしいです。

→ 次回ポリスに続きます!!

今回はここまで!! おつかいでした。
エーゲ文明、ギリシア文明はいいか? 次回
はギリシアのポリスが主役です。主人
みたいな政治をするのに、たいていこの
見方ですね。
おつかいに!!
外は好きですが、ストレスも少し
たいて、家でできる運動をするのがいいです。
体も頭もよくついで、元気に過ごさう!

